

学校法人阿弥陀寺教育学園 国際医療福祉専門学校七尾校

令和3年度 第2回学校関係者評価委員会議事録

令和4年3月15日

委員：	竿漕 正人	(七尾市役所 健康福祉部福祉課 課長)
	津田 博美	(社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長)
	能美 敬一	(在学生保護者・後援会 会長)
	大矢 陽介	(はまなす園 特別養護老人ホーム 理学卒業生)
	岩島 誠	(公立能登総合病院 理学卒業生)
	沖崎 孝裕	(市立輪島病院 作学卒業生)
	皆川 直樹	(津幡町消防署 救命卒業生)
	村田 敏子	(特別養護老人ホーム 鹿寿苑 介護卒業生)
	三和 勘太	(国際医療福祉専門学校七尾校 副校長)
	由久保 弘明	(国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科)
	古川 慎太郎	(国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科)
	花田 真維子	(国際医療福祉専門学校七尾校 介護福祉学科)

議事内容

1. コロナ禍における学校行事および取り組み活動・成果報告
2. 各学科の報告について
3. 学生募集と成果（令和4年度入学見込み者数など）

1. コロナ禍における学校行事および取り組み活動・成果報告

昨年度と同様に中止・変更となった行事や活動内容は次のとおりである。

① 1年次および2年次の保護者オリエンテーション

対面型 ⇒ 電話およびオンライン面談へ変更し実施

② 県内の各種専門学校が一同に集まっての球技大会の中止

③ 介護施設等におけるボランティア活動の中止

④ 認知症カフェへの参加中止

⑤ 学校祭は規模を縮小して実施

⑥ 卒業式は卒業生と保護者、教職員のみで実施予定

なお、活動内容および成果については、オンラインによる遠隔授業体制の充実化が図れるようになり、自宅待機中における指導ができるようになったこと。また、大雪や天候不良時にオンライン講義への移行がスムーズに行えるようになり、休校にする機会が減ったことである。

2. 各学科の報告について

【理学療法学科】

①各学年の在籍者数（4月時点）と進級予定者数（3月時点）／卒業者数について

1年生：在籍者数 18名 （1名が留年、3名が退学）

進級予定者数 14名

2年生：在籍者数 18名 （1名が退学）

進級予定者数 17名

3年生：在籍者数 18名

卒業者数 18名

②国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数 17 名 (1 名は未受験：追加実習中の為)

合格見込数 16 名／17 名 【94.1%】

就職内定状況 13 名／17 名 【81.2%】

＊合格見込者の内、3 名は現在就活中

＊未受験 1 名の進路は科目等履修生となる予定

＊今年度は国家試験前の 3 週間を感染対策として完全遠隔授業として取り組み、全員の受験が可能であった。他科の学生で濃厚接触者と認定され受験ができなかった学生もいることから、この取り組みの成果はあったと考える。

＊例年よりも班学習もしくは二人以上で学習を行うよう指導を徹底し、その他には実地問題対策にかける時間数を 20 コマ以上に増やして実施した結果、実地問題の得点率の平均が約 70%であり、一定の効果があったと思われる。しかしながら、得点率の低い学生の内容を分析したところ Out put する量が少ない傾向があった。臨床推論を中心とした考えを Out put する環境を学内でいかにして提供し、問題解決能力をアップさせる指導を 3 年次の指導はもちろんであるが、早期の 1 年次、2 年次からも指導を徹底する。

③臨床実習関連

- ・臨床実習指導者会議は昨年度と同様にオンラインによる開催
- ・3 年生の総合臨床実習（8 週間で 2 回）は、コロナ禍により臨床実習受け入れを断る施設が数件あったが、他施設での受け入れを調整した結果、ほぼ計画とおり実施できた。
- ・冬季の 2 年次臨床評価実習（4 週間）は例年、成人式の 1 週間後から開始とされていたが、感染対策として式典から 2 週間の期間を空けてからの開始となるよう実習時期を変更して実施した。続く 1 年次臨床見学実習（1 週間）においても実施時期が例年の 2 月末を 3 月上旬に変更し、実施した。しかしながら、1 月 2 月の感染拡大に伴い、実習受け入れを見送る（一旦中断）施設が数件あり、これにより実習配置ができていない学生に関しては 3 月末～4 月上旬で実習可能な施設で実施予定である。

【救急救命学科】

① 各学年の在籍者数と進級予定者数／卒業者数について

1 年生：在籍者数 22 名 (4 名退学)

進級予定者数 18 名

2 年生：在籍者数 14 名

進級予定者数 13 名 (1 名退学)

3 年生：在籍者数 8 名

卒業者数 8 名

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数 8 名

合格見込数 6 名／8 名 (75.0%)

就職内定状況 7 名／8 名 (87.5%) (消防 6 名、病院 1 名)

＊例年消防就職のための公務員勉強が 4 月から本格化する。早い試験で 6 月末に公務員試験があり、遅い試験では 10 月初旬に公務員試験が実施される。公務員試験対策（勉強・体力錬成）に加え、救急救命士の国家試験勉強を両立することが、毎年の課題であると感じた。今年度は 10 月の受験を終えた後、国家試験対策を本格化させたが、1 月まではなかなか国家試験に向けて勉強に打ち込むことが出来ない状況となっていた。また、グループ別の学習を 3 ヶ月間継続していた 4 人は、後半の伸びが良く全員合格となった。

今年度初めての取り組みとして、系列 3 校での模擬試験を 2 回実施した。

毎年 J E S A（救急救命士施設協議会）の全国模試だけとなるが、その他にも模擬試験を実施したことにより、現状の立ち位置を客観的に比較できたことは学生にとって良い刺激となり、継続して勉強をしていかなければならないと実感していたように感じる。

例年の反省となっているが、学生の学力に応じて公務員試験期間中であっても、定期的な国家試験対策を行っていき、解剖・生理学については、10 月までに理解しておくように指導していくことが必要となる。

③今年度コロナにより中止となった救急関連のものについて報告

<1, 2, 3 年生>

- ・学びフェスタ

<1 年生>

- ・大阪千里メディカルラリー スタッフ負傷者役参加
- ・能登和倉万葉の里マラソン（救護班、AED 隊）として参加

<2 年生>

- ・ライフセービング体験（福井県若狭和田）（8 月）
- ・石川県立中央病院で FAST(エコー) <3 年生>

以上、昨年同様多くの行事が中止となった。現場を知らない学生にとって、救急関連行事は、臨床経験となり、同時にモチベーションアップにも繋がる重要な経験として認知しているため、非常に残念な結果となった。

金沢マラソン大会では、1 年生が救護員を担当。事前に授業内で応急手当の講義を行い臨んだため、実際の救護活動で役立てることができていた。

西日本学生選手権が、明治国際医療大学（京都）にて開催され、2 年生 6 名と 1 年生 2 名が参加した。良い成績が収められなかったが、他校の活動と比較でき良い経験に繋がった。

④臨床実習関連

- ・実習計画の変更

今年度の臨床実習は、3 年生は 11 月に予定通りに実施できた。2 年生については 1 月に実施予定だったが、実習前日にコロナ陽性の学生がでたため、急遽全て中止として学内実習に切り替えて行った。

また、救急車同乗実習は、前期（11 月）と後期(2 月)とに分けて実施した。前

期については予定通り実施できたが、後期については、コロナ陽性学生がでたため、中止とし学内実習に切り替え行った。

＊昨年に引き続きのコロナ禍における臨床（病院、消防）実習施設の受け入れ条件として以下の内容があった。

- 1.PCR 検査を事前に受けること義務付ける。（一部）
- 2.実習開始前の 2 週間の行動履歴や健康管理表の提出、誓約書への同意。
- 3.感染対策グッズ（ゴーグルや携帯アルコール、N95 マスク、感染防止衣など）の事前準備

【介護福祉学科】

① 各学年の在籍者数と進級予定者数／卒業者数について

1 年生：在籍者数	6 名
進級予定者数	6 名
2 年生：在籍者数	17 名（全て留学生）
卒業者数	17 名

② 国家試験自己採点結果による合格見込数と就職内定状況について

受験者数	7 名	（受験申し込みは 10 名）
合格見込数	4 名／7 名	（57.1%）
就職内定状況	17 名／17 名（100%）	暫定にて養成校卒業にて資格取得

③実習関連、授産施設への見学および交流、施設見学

⇒コロナの影響にて見学及び交流等の実施はできず。

実習は施設先の受け入れが厳しく、総合実習Ⅰ・Ⅱ（2 年）は実施できず、基礎実習Ⅰ（1 年）は 5 日のみ、基礎実習Ⅱ（1 年）に関しては、オミクロン感染拡大により介護施設のクラスターが増えたことから、全て校内演習に振り替えとなった。

④留学生の受け入れ

⇒2年生は全て中国国籍で、17名の進級となり、全員が単位取得にて卒業となる。

暫定期間であることから(准)介護福祉士の資格が取得できるものの、国家試験受験にて合格を目指す学生との学力の差があることから、後期は単位取得コースと、国家試験受験コースに分け、授業を行った。国家試験受験コースは、10名の学生が志願し、90時間の国試対策授業を増やし、受験に向けて取り組んだ。受験は2名が辞退し、1名がコロナ濃厚接触者に該当したため受験できなかった。

⑤今年度より1年生は新カリキュラムにて授業を開始している。

3. 学生募集と成果（令和4年度入学見込み者数など）

☆学生募集と成果

【入学見込み者数】

2022年度入学者見込み数（PT：23名 EMT：15名 CW：3名 計：41名）

2021年度入学者数（PT：18名 EMT：22名 CW：7名 計：47名）

現時点で入学見込者は41名である。介護福祉学科の入学予定者の中に留学生は昨年に続きいない状況となった。今年度も新型コロナウイルスの影響などもあり、募集動向が非常に読みづらい状況であった。また高校訪問については資料請求者等を中心に行った。

高校ガイダンスについてはリクルートを中心に募集活動を行うという事で一切行わなかった。その中でもオンラインでの施策や、高校訪問を担当者制にし、少ない活動のなかでも印象を強くしていくように努めた。

受験者の動きは例年と大きな変化は見られなかったが、出願者数については、理学療法学科は昨年より5名増加した。しかし、救急救命学科は来年度募集から金沢の北信越柔整専門学校が救急救命学科を開設したことから22名から15名と減少した。介護福祉学科についても7名から3名と減少しており、全体人数も今年度も47名から41名と減少している。来年度については救急救命学科の施策について検討していく必要性がある。

【資料請求者数の動向】

2019年10月よりリクルート社が運営するスタディサプリ（ネット媒体）と全国の高校生に配布される進学辞典で広報活動を行った。更にYouTubeでの動画配信やInstagram等のSNSを充実させた広報活動も行った結果、昨年度と同程度の資料請求数を確保できた。

＊参考 資料請求者数 昨年度：約450件、 今年度：約431件

【オープンキャンパス】

今年度も新型コロナウイルス流行によりオンラインでの説明会が多かったが、対面式のオープンキャンパスも実施した。

オープンキャンパス参加者の推移

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
4 月	5 名	中止	4 名
5 月	1 名	中止	1 名
6 月	2 名	7 名	3 名
7 月	13 名	13 名	14 名
8 月 1 回目	20 名	6 名	8 名
2 回目	12 名	12 名	14 名
3 回目	13 名	7 名	5 名
4 回目	2 名	4 名	4 名
9 月	4 名	14 名 (2 回開催)	6 名
10 月	2 名	3 名	7 名
11 月	6 名	2 名	4 名
12 月	1 名	1 名	
1 月			5 名
2 月	1 名		
3 月	1 名	4 名	4 名
総計	83 名	73 名	<u>79 名</u>

*オープンキャンパスの総参加者数は昨年度より 7 名増加した。

【来年度の方針】

来年度もリクルートを中心として募集活動を行い、オープンキャンパスへの参加につながる連携を強化し、入学者数の増加を狙う。

以上